

【令和3年度第2回北杜市八ヶ岳スケートセンター管理運営委員会 議事録】

日時：令和3年10月21日（木）

出席者：管理運営委員 8名

事務局 加藤教育部長、渡辺生涯学習課長、社会体育担当 相良

傍聴人：0名

内容：軽井沢風越公園アイスパーク 視察

(施設担当者) スケート競技者が減っていく中で利用者を増やしていくかが当
面の課題。軽井沢は関東から新幹線で1時間。気軽に来れる場所で避暑地、観光
地として人気。別荘、ホテル、アウトレットでGWや年末はにぎわう。

風越公園内は、7つの施設がある。アイスアリーナは長野オリンピック時のカー
リング会場。スカップ軽井沢は通年型プールとトレーニングルーム。テニスコー
ト14面、人工芝のグラウンド、総合体育館。総合体育館は、有事の際、町の避
難所になる。カーリングホールは6シートを持つ日本最大で国際基準。スケート
リンクは高速リンクで有名。

5年間の指定管理を一般社団法人軽井沢町振興公社とNPO法人SC軽井沢ク
ラブの2社が合同企業を組んで、2億6千万円で請け負っている。

【月別利用者について説明】

夏期はローラーとフットサルコート、冬季はスケートリンクの営業。平成25
年から比べると増加。教育委員会が管理しているときは夏期営業をしておらず、
知名度も低かった。指定管理によって、年間を通して営業することや遊び放題の
宣伝効果によってリピーターが出た。

【スケートリンク運営等について説明】

2001年12月に竣工し、2011年にリニューアルオープン、翌年記録室棟がで
きた。2013年から合同企業が指定管理を受けている。スケートリンクは100分

の 1 秒まで計測できるフォトシステムを使用。職員は連盟登録者 3 名、経験者 2 名。

電気料はカーリングホールと兼ねているため、基本料金が高い。冷凍機は 6 台あり、電気稼働。

【自主事業について説明】

自主事業は当初より種類を増やし、人数も増えた。自主事業でいかに人を呼ぶかが大事。GW、年末の年 2 回に実施し、観光客の利用が多い。会社で小中学生対象のクラブチームを作り、週 3 回各 2 時間の練習をしている。クラブは軽井沢以外に小諸、佐久、御代田から全 33 名が登録している

遊び放題は、遊び道具を用意して自由に遊んでもらう。東京などは自転車を自由に乗ることができない環境で、400 m のスケートリンクでできて環境がいいという意見がある。フットサルコートは簡易的なネットを張って、テニスに利用している。

～施設見学～